

幼児期における豊かな遊びの創造

～小規模園におけるよりよい保育を目指した園内研修を通して～

令和5・6年度幼児教育 研究推進校

つくば市立大穂幼稚園



1 研究のねらい

幼児の遊びは、教師との関わりで大きく変化する。限られた人員、勤務時間の中で、保育を実践しながら園内研修を工夫し、職場に学び続ける風土をつくりながら教師の資質を向上させることで、幼児の豊かな遊びを追究する。

2 研究の内容…(1)研究の方法(主なもの)

- ア 研修グランドデザイン、研修年間計画の策定
- イ 研修方法の整理及び研修内容の見直し、研修の実践と記録、分析
 - (ア) O J T (保育実践、保育主任・教頭によるインタビュー形式の振り返り)
 - (イ) O F F－J T (理論研修、課題研修、研究協議等)
 - (ウ) 合同研修 (グループ園、研究園、市内園)
 - (エ) 地域研修 (地区内小学校との研修会、地区幼保小連絡協議会、地区C・S)
- ウ 研修イラスト資料集の作成 など



2 研究の内容…(2)研究の全体構想



3 掲載事例の紹介

- 1 すごいよ～川が繋がった！砂場遊び
(4歳児)
- 2 うんどこしよ どっこいしょ 劇遊び
～見通しをもった取り組み～ (4歳児)
- 3 絵を描くこと楽しい！
～絵の見方グループ園内研修～ (5歳児)
- 4 夏祭りにおうちの人を招待しようよ
(5歳児)
- 5 振り返りと見通しについて
～チェックリストの活用～ (4・5歳児)
- 6 お兄さんとお姉さんにありがとうを伝え
たい！～中学生との交流～ (4・5歳児)



4 研究の成果(概略)

- 具体的な課題をテーマにした研修を計画的に実施したことで、保育の場面を職員間で共有しながら話し合うことができた。
- OJTでは、チェックリストを活用することで、情報共有と共通理解が図れた。
- 研修により「10の姿」を踏まえて保育計画案を立てるようになった。また、幼児の思いに共感することで、幼児の遊びが広がった。
- 保育計画を立てる際に、遊びと学びのつながりを検討するようになった。
- 地区の小学校と情報交換研修を実施したことで、保育の改善ができた。
- 合同研修や公開保育の実施により、小規模園でも充実した研修ができた。



つくば市立大穂幼稚園の研究について詳しく知りたい方は、茨城県教育委員会ホームページの、幼児教育指導資料「茨城の幼児教育第50号」をご覧ください！

掲載場所：
茨城県教育委員会HP > 学校教育 >
幼児教育 > 幼児教育指導資料

皆さんの園で
生かせる内容
だと思います

